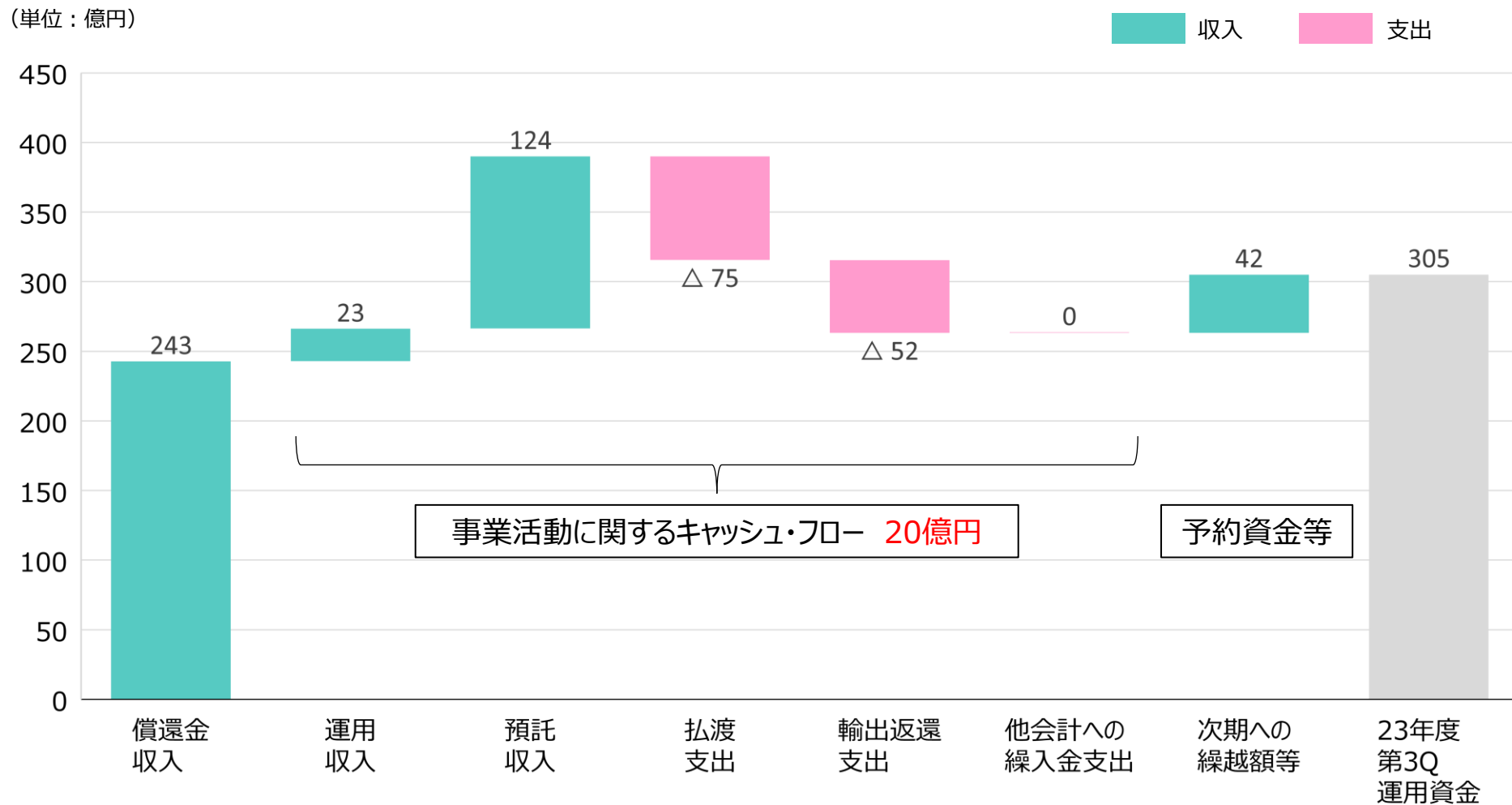


# 2023年度第3四半期の運用実績 (1) 運用資金

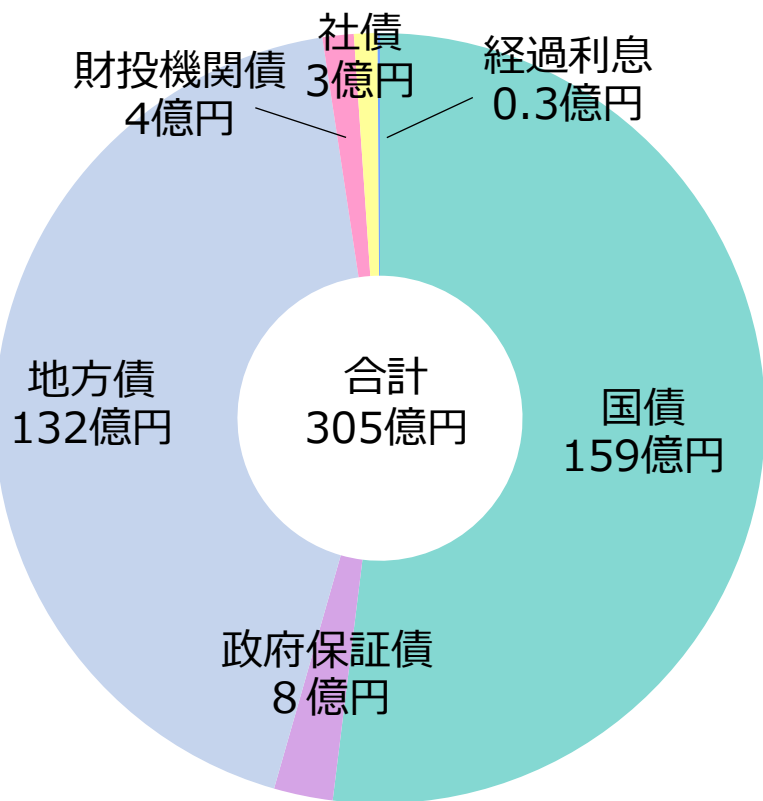
第3Qの運用資金は305億円（事業活動に関するキャッシュ・フローは20億円のプラス）。



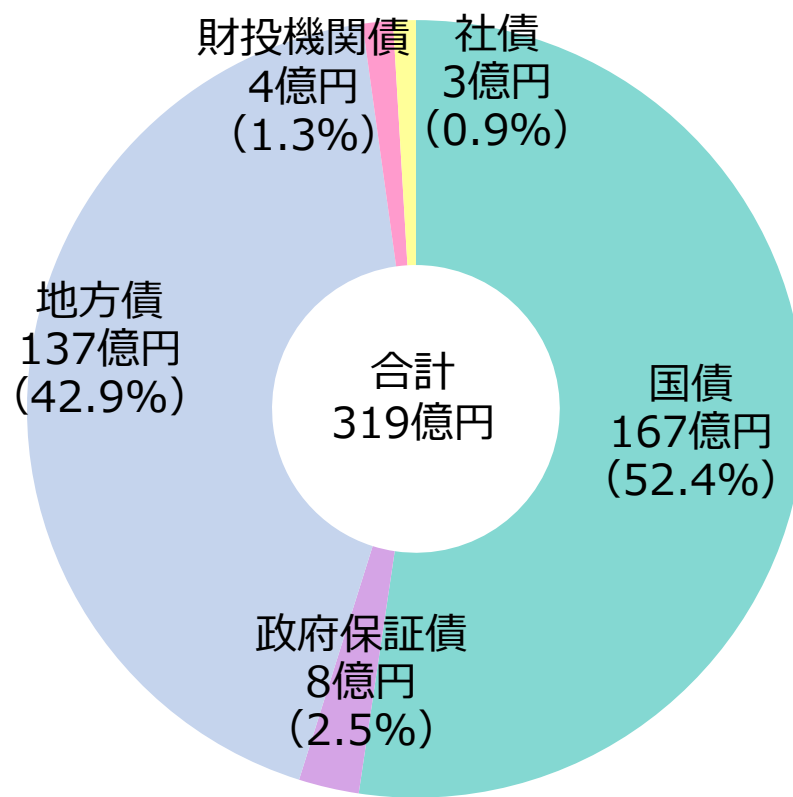
## 2023年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

第3Qは年限5年、年限10年、年限14年及び年限15年の債券を新規に取得（簿価ベース305億円、額面ベース319億円）。

簿価ベース



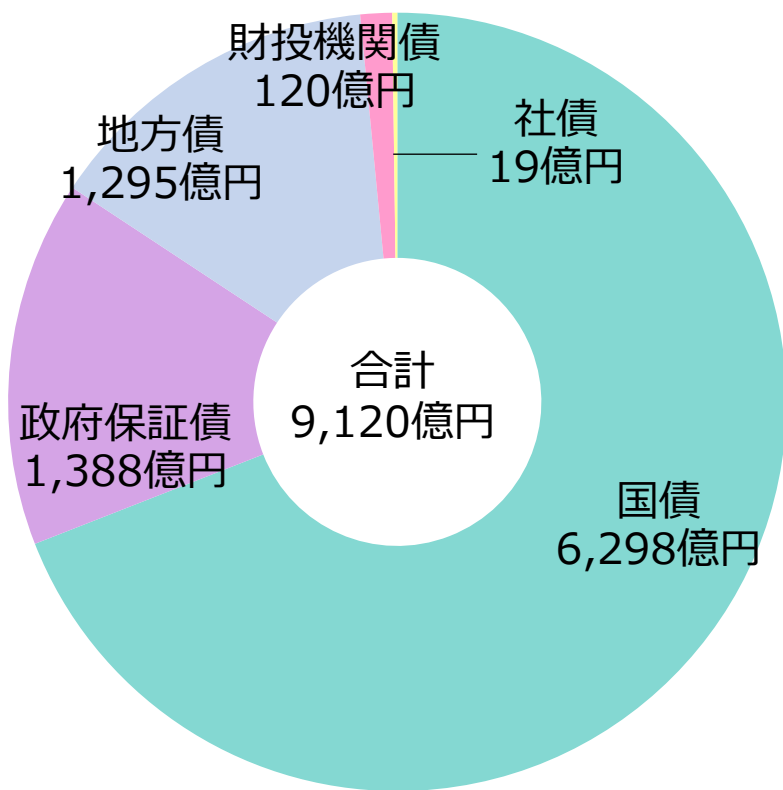
額面ベース



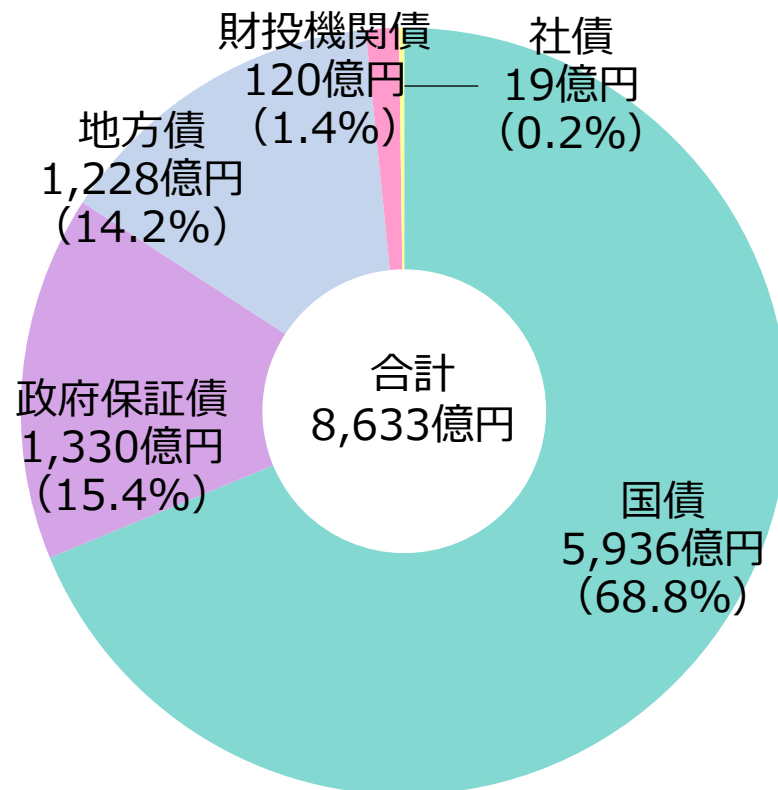
## 2023年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

第3Q末における保有債券は額面残高で8,633億円となった。

簿価残高

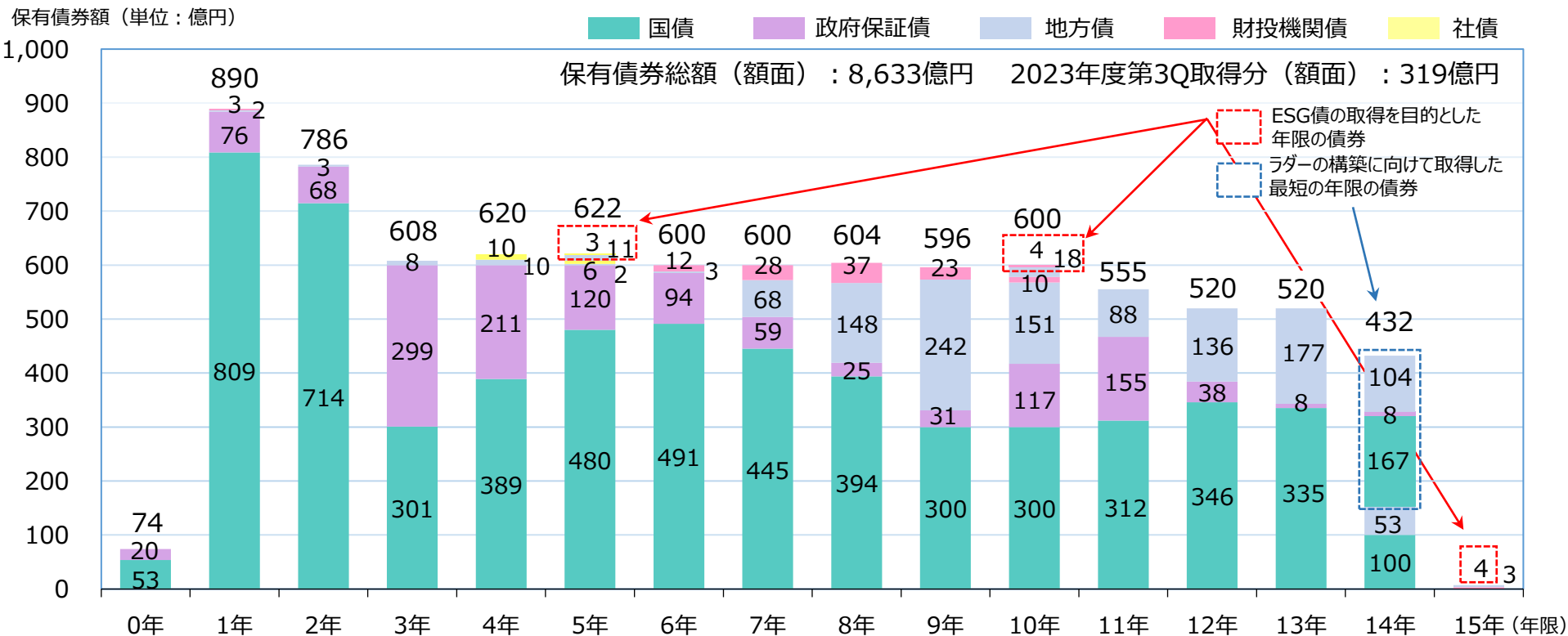


額面残高



# 2023年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

額面残高8,633億円分の保有債券のラダー型ポートフォリオは下図のとおり（現在、年限3年以降で15年ラダーを構築中）。第3Qに新規に取得した債券を含め、評価基準に合致。



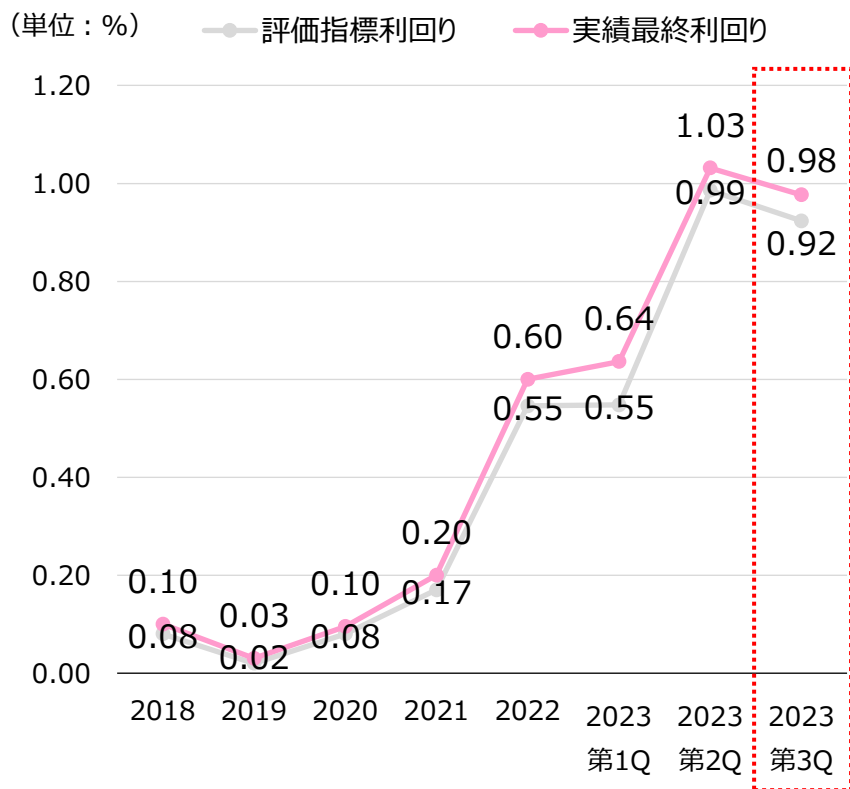
## <評価基準>

- ① 年限3年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、許容乖離幅が600億円から±5%の範囲に収まっていること。
- ② 年限3年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、国債以外の債券の合計額が国債の額を超える場合は、国債の額からの乖離幅が5%以内に収まっていること。
- ③ 財投機関債及び社債の保有上限額（額面ベース）が、ポートフォリオ全体のうち5%を超えていないこと。
- ④ 社債の保有額が財投機関債の保有額を超えていないこと。
- ⑤ 財投機関債の新規取得額面が15億円、社債の新規取得額面が20億円を超えていないこと。

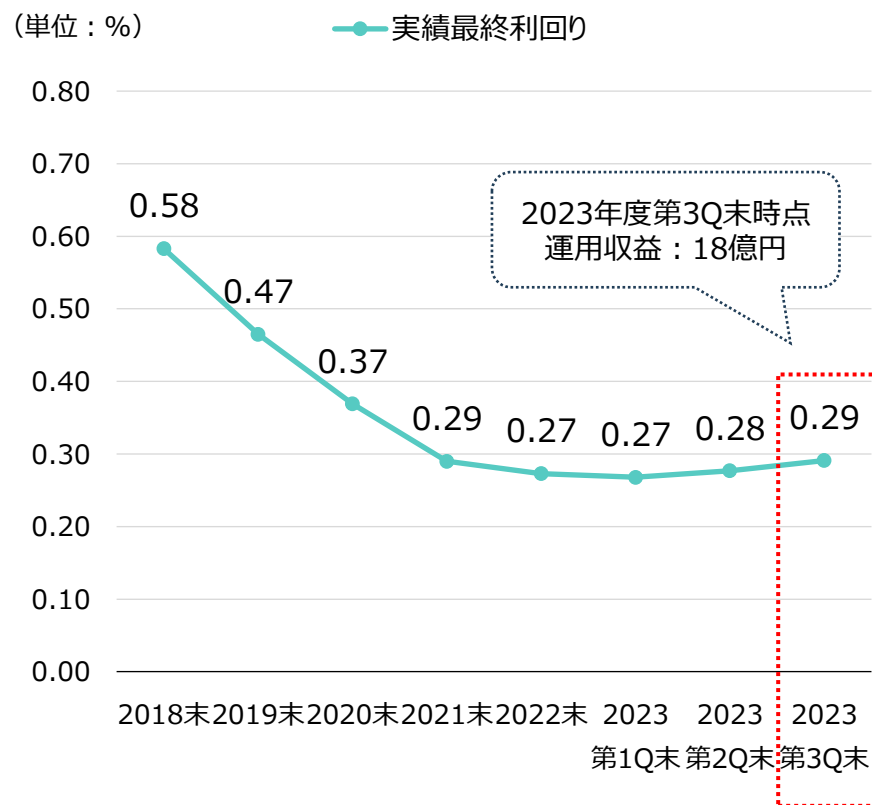
## 2023年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

新規取得債券の実績最終利回りは0.98%となり、評価指標利回り0.92%を上回る結果となった。資産全体の利回りは0.29%となり、第2Qの利回りを0.01ポイント上回る結果となった。

### 新規取得債券の利回り



### 資産全体の利回り



\* 「評価指標利回り」とは債券を取得した年限の日々の市場における利付国債の最終利回り（単利）を、年限ごとの債券の取得比率実績により加重平均したものを。

## 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

第3QにおいてはESG債を40億円取得。本財団のWebサイトにて投資表明をした債券は下表のとおり。

発行体	長野県	三重県	東京都
債券種別	地方債	地方債	地方債
ESG種別	グリーンボンド	グリーンボンド	グリーンボンド
銘柄名	長野県令和5年度公募公債 (グリーンボンド(10年))	三重県令和5年度第1回公募公債 (グリーンボンド)	東京都公募公債 (東京グリーンボンド(5年))第7回
発行総額	100億円	75億円	200億円
利率	年0.875%	年0.870%	年0.398%
期限	10年(償還年月日:2033年10月25日)	10年(償還年月日:2033年9月20日)	5年(償還年月日:2028年9月20日)
格付	-	-	A+(S&P)
適合する原則等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等
資金使途(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小水力発電所の設置</li> <li>● しなの鉄道の車両更新に対する補助</li> <li>● 県有施設の新築・改修・設備等の更新(空調設備の更新、照明のLED化)</li> <li>● 水害対策のための河川改修</li> <li>● 森林環境保全のための林道整備</li> <li>● 諏訪湖環境研究センター(仮称)の整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電動車の導入</li> <li>● 太陽光発電設備等の整備</li> <li>● 県有施設の新築、改修(ZEB等を取得する施設・設備整備)</li> <li>● 県有施設・設備の新築・更新・改修</li> <li>● 沿岸浅海域における藻場造成</li> <li>● 農林水産分野への対応等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応</li> <li>● 都有施設の改築・改修</li> <li>● 都有施設・道路の照明のLED化</li> <li>● 公社住宅における太陽光発電設備設置</li> <li>● 都立学校の環境改善</li> <li>● 再生可能エネルギーの活用に向けた蓄電池設置事業</li> <li>● 自転車走行空間の整備</li> <li>● 都立公園の整備等</li> </ul>

# 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

発行体	宮城県	神奈川県	高知県
債券種別	地方債	地方債	地方債
ESG種別	サステナビリティボンド	グリーンボンド	グリーンボンド
銘柄名	宮城県公募公債第1回1号 (5年・サステナビリティボンド)	神奈川県第4回5年公募公債 (グリーンボンド)	高知県令和5年度第1回公募公債 (グリーンボンド・5年)
発行総額	100億円	100億円	50億円
利率	年0.443%	年0.438%	年0.438%
期限	5年(償還年月日:2028年10月30日)	5年(償還年月日:2028年9月20日)	5年(償還年月日:2028年10月31日)
格付	AA+ (R&I)	-	-
適合する原則等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021 ソーシャルボンド原則2023 サステナビリティボンド・ガイドライン2021 等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021 等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021 等
資金使途(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域鉄道事業者の車両更新に対する補助</li> <li>● 県有施設・設備の更新・改修</li> <li>● 河川改修等、ダム建設、農業農村整備、治山、土砂災害対策・造林等</li> <li>● 閉鎖循環式陸上養殖研究施設の建設</li> <li>● 藻場造成</li> <li>● 県有施設・設備等の更新・改修、警察署の建設、交通安全施設等の整備、広域防災拠点の整備、港湾の整備</li> <li>● 県営住宅の改修 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備</li> <li>● 河川の防災対策の充実・強化</li> <li>● 土砂災害防止施設の整備</li> <li>● 治山施設の整備・強靱化</li> <li>● 海岸保全施設等の整備</li> <li>● 漁港施設等の防災機能の強化</li> <li>● 道路の防災対策の充実・強化 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県有施設への太陽光発電設備の導入</li> <li>● 県有施設の設備更新(空調)等による環境負荷軽減</li> <li>● 公用車への電動車の導入の促進</li> <li>● 森林整備</li> <li>● 河川整備、放水路・ため池整備、浚渫事業</li> <li>● 砂防・急傾・地すべり対策</li> <li>● 防波堤や海岸堤防の整備</li> <li>● 植物の情報収集と標本の適正管理 等</li> </ul>

# 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

発行体	グリーン共同発行団体	沖縄振興開発金融公庫	大阪府
債券種別	地方債	財投機関債	地方債
ESG種別	グリーンボンド	サステナビリティボンド	グリーンボンド
銘柄名	第1回グリーン共同発行市場公募地方債	第32回沖縄振興開発金融公庫債券 (サステナビリティボンド)	第2回大阪府公募公債(15年) (グリーンボンド)
発行総額	500億円	100億円	50億円
利率	年0.846%	年0.934%	年1.347%
期限	10年(償還年月日:2033年11月25日)	10年(償還年月日:2033年12月20日)	15年(償還年月日:2038年12月20日)
格付	-	AA+(R&I)	-
適合する原則等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021 ソーシャルボンド原則2021 サステナビリティボンド・ガイドライン2021等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等
資金使途(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設等のZEB化等</li> <li>● 下水処理施設の整備事業等</li> <li>● 水産資源の保全・管理に資する事業等</li> <li>● 公営公共交通機関の車両等整備事業等</li> <li>● 風水害対策事業等</li> <li>● グリーンビルディングに関する事業等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄の再生可能エネルギー導入によるCO2排出量削減</li> <li>● 沖縄の省エネルギー設備への投資によるCO2排出量削減</li> <li>● 沖縄の海洋汚染防止</li> <li>● 沖縄の森林環境の保全</li> <li>● 沖縄の省エネ住宅の建設によるCO2排出量削減</li> <li>● 沖縄の脱炭素に資する設備の導入によるCO2排出量削減等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防や洪水調節施設等の整備</li> <li>● 土砂災害防止施設(砂防堰堤等)の整備</li> <li>● 道路の無電柱化</li> <li>● ため池等の総合的な防災・減災対策</li> <li>● 公園緑地の創出</li> <li>● 大阪モノレールの延伸</li> <li>● なにわ筋線の整備等</li> </ul>



# 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

発行体	福井県
債券種別	地方債
ESG種別	グリーンボンド
銘柄名	福井県令和5年度第6回公募公債 (グリーンボンド)
発行総額	50億円
利率	年0.850%
期限	10年(償還年月日:2033年10月26日)
格付	AA(R&I)
適合する原則等	<フレームワークに適合する原則等> グリーンボンド原則2021等
資金使途(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北陸新幹線の整備</li> <li>● 電動車・充電設備の導入</li> <li>● 太陽光発電の導入</li> <li>● 新築施設のZEB、ZEH化</li> <li>● 敦賀港におけるカーボンニュートラルポート形成の推進</li> <li>● 林道の整備</li> <li>● 漁港、漁場の整備</li> <li>● 公園における環境保全阻害防止対策</li> <li>● 河川、ダム等の整備</li> <li>● 砂防施設の整備</li> <li>● 港湾施設の整備 等</li> </ul>

## <福井県グリーンボンドの資金使途の例>

災害時の緊急輸送道路となる  
中部縦貫自動車道の整備



公共施設等の省エネ化  
(県立学校照明のLED化)



林道の整備



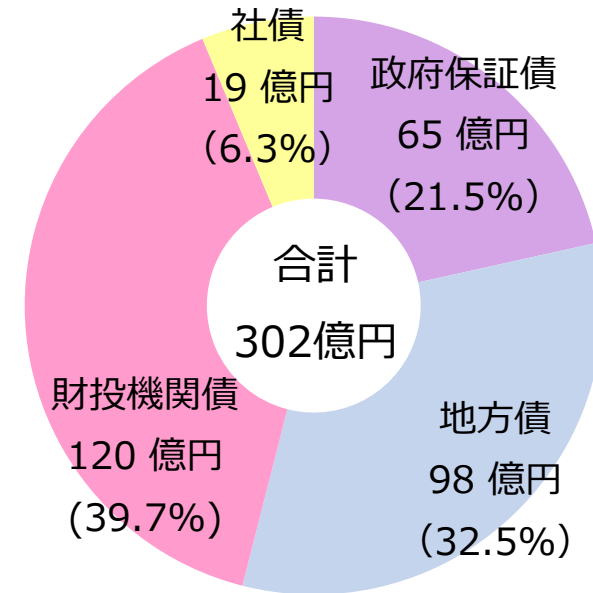
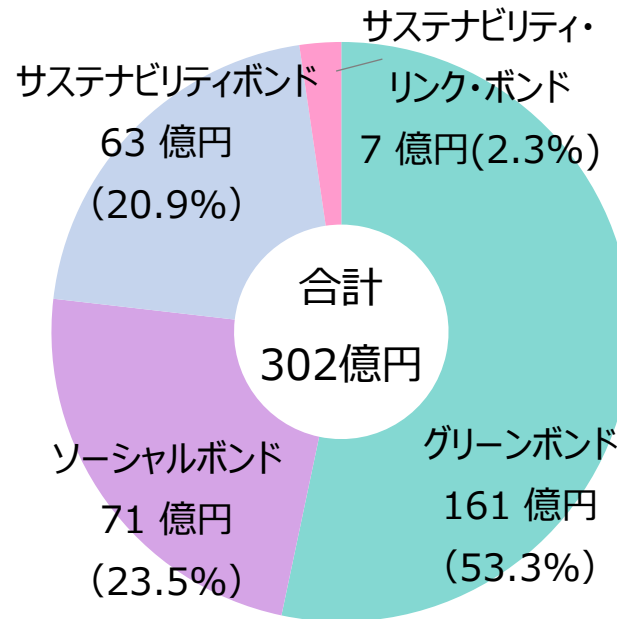
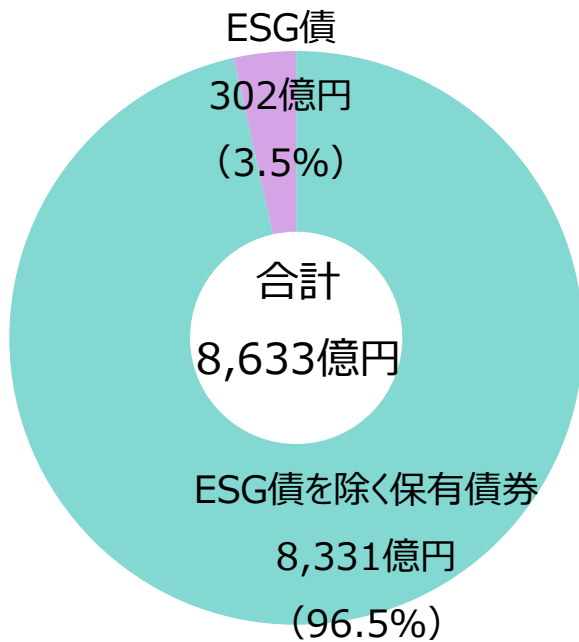
(引用) 福井県Webサイト:  
<https://www.pref.fukui.lg.jp/index.html>

# 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

第3Q末時点における保有債券全体に占めるESG債の割合は3.5%となった。

保有債券全体に占める  
ESG債の割合 (額面)

ESG債の種別構成 (額面)



# 2023年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

2021年度から3年連続でサステナビリティボンドを発行した沖縄振興開発金融公庫と、11月にエンゲージメントを実施し、複数のメディア※ に記事掲載された。また、エンゲージメントの内容をまとめたレポートを本財団のWebサイトに公開した。

## 対談概要

## エンゲージメントレポート

対談日	2023年11月27日 (月)
対談者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄振興開発金融公庫理事 屋比久盛徳氏</li> <li>・本財団業務執行理事 (CFO)大久保英明</li> </ul>
取得したESG債券	<ul style="list-style-type: none"> <li>①第30回沖縄振興開発金融公庫債券 発行日：2021年12月</li> <li>②第31回沖縄振興開発金融公庫債券 発行日：2022年12月</li> <li>③第32回沖縄振興開発金融公庫債券 発行日：2023年12月</li> </ul>
対談内容	沖縄振興開発金融公庫が発行した上記債券の資金用途についての確認、及び社会・環境的課題の解決に関するインパクト・レポートの在り方についての意見交換等



**MIZUHO**  
みずほ証券 CAPITAL MARKET LETTER

SDGs債エンゲージメント報告  
沖縄の課題解決に向けた取組と債券投資家の期待  
(自動車リサイクル促進センター & 沖縄公庫)

(要旨)  
昨年、本誌第9号から50号を記した沖縄篇。この間、県内唯一の総合政策金融機関として、沖縄が抱える社会環境問題の解決や経済発展を支援してきた沖縄振興開発金融公庫（以下、沖縄公庫）は、2021年よりサステナビリティボンドの発行を開始した。  
2005年1月からの長期懸念した自動車リサイクル制度は、廃棄物の削減と資源の有効利用を目的とした社会システムであり、自動車をはじめリサイクル可能な各種品に高い資源循環システムを実現している。その中心を担う公益財団法人自動車リサイクル促進センター（以下、JARC）は、自動車所有者から回収したリサイクル料金の適切な管理運用の業務も行っているが、環境安全が経営理念に定まっていることから、早くからSDGs債の投資実現を支援してきた投資家の一員も合わせ持つ。  
2023年11月27日、沖縄公庫本店ビル（新館舎）において、沖縄公庫の屋比久盛徳理事とJARCの大久保英明業務執行理事によるエンゲージメントが実施された。本報はその対談の内容を紹介する。

2023年12月18日

みずほ証券  
サステナビリティ推進部  
SDGsプライマリアナリスト  
喜月達伸

本誌が読者の読者のみならず、取引の動向を目的としており、取引の動向を目的としておりません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断によるようお願いいたします。本報のページに本報の発行に際して必要な記載事項および注意を掲載しております。なお、プライマリアナリストは、リサーチ部門に所属する独立したリサーチアナリストではありません。

OneMIZUHO

対談に当たっては、公益財団法人沖縄県産業開発公社による新産業化を推進した事業で公債だけでなく沖縄県も高い関心を寄せている「SDGsの推進に向けた取組と期待」をテーマとして、本誌でも取り上げて取り組んでいくことができたサステナブルな取り組みが、今後、実際にどのように展開されているか見込めていただければ幸いです。

対談に当たっては、公益財団法人沖縄県産業開発公社による新産業化を推進した事業で公債だけでなく沖縄県も高い関心を寄せている「SDGsの推進に向けた取組と期待」をテーマとして、本誌でも取り上げて取り組んでいくことができたサステナブルな取り組みが、今後、実際にどのように展開されているか見込めていただければ幸いです。

対談に当たっては、公益財団法人沖縄県産業開発公社による新産業化を推進した事業で公債だけでなく沖縄県も高い関心を寄せている「SDGsの推進に向けた取組と期待」をテーマとして、本誌でも取り上げて取り組んでいくことができたサステナブルな取り組みが、今後、実際にどのように展開されているか見込めていただければ幸いです。

対談に当たっては、公益財団法人沖縄県産業開発公社による新産業化を推進した事業で公債だけでなく沖縄県も高い関心を寄せている「SDGsの推進に向けた取組と期待」をテーマとして、本誌でも取り上げて取り組んでいくことができたサステナブルな取り組みが、今後、実際にどのように展開されているか見込めていただければ幸いです。

※ 沖縄タイムスや日刊自動車新聞など